

山本五十六がいた島

2014年10月8日

クローバー・アセットマネジメント株式会社
代表取締役社長 多根 幹雄

先日ミクロネシア連邦のチューク諸島（旧トラック諸島）を訪れました。ご年配の皆さんはご存知でしょうが「冒険ダン吉」のモデルになった森小弁さんが大酋長として発展に貢献した島々です。また、第一次世界大戦勃発の1914年から第二次世界大戦の終了の1945年までの31年間、日本の委任統治領となりました。第二次世界大戦中は、連合艦隊の一大拠点として、戦艦「大和」や「武蔵」も係留していました。当時の島民は大和を見て「島が動いている！」と驚嘆したそうです。

その中心となったトノアス島（旧夏島）には1941年に連合艦隊司令部も進出。かつては商店、映画館、銀行、料亭、病院、学校、神社、港湾設備もあり、2万人もの日本人で栄えました。今は日本人のいた痕跡はジャングルに覆われ見る影も無く、現地の人々5000人が昔ながらの生活をする静かな南洋の島にもどっています。

31年の統治を経て日本人が残していったものは、400近い日本の単語（ココロ、ガッコウ、センセイ、トタン、チチバンド等々）と、撃墜され海底深く沈んだままの戦艦や輸送船ぐらいでしょうか。その多くの残骸を見ることが出来る海が、世界でも有数のダイビングスポットとして人気を博し、世界中からダイバーが観光に訪れています。その観光収入が島の大きな財源になっているということで、まったく思いもしなかったところでこの島に貢献できているようです。

一番喜ばしいことは、森小弁氏と酋長の娘イザベルの間に生まれた子孫が3千人を超え、現大統領エマニュエル・モリ氏を含め、現在のミクロネシアを担う人材の多くを輩出しているということです。このことは、日本人としてとても誇らしく思えることですね。しかしそれは、軍や国家でなく、森氏個人の偉大な努力の賜物なのです。

他のアジア諸国でも「大東亜共栄圏」と言いながら、国家や軍の利益を優先し、目先のことのみ突き進んだ結果が如何に悲惨な結果をもたらすか。そして多くの人々を巻き込み、苦しめた結果が、放置された残骸のみというのはあまりにも悲しいことです。日本人は「終戦」という言葉の中にすべてを閉じ込めて水に流し、「敗戦」から本当の意味で学ぼうとしてこなかったのではないのでしょうか。いろいろ考えさせてくれるミクロネシアへの旅でした。お金や運用の世界も人間の欲がそのまま出やすい世界です。世の為、人の為、そして本当に長期で世の中が良くなって行くことを願って取り組まないと、仮に運用が成功したとしても、不幸な結果をもたらしてしまうかもしれません。

さて、9月は為替が大きくドル高に変動し、日米の株式市場の上昇もあってクローバーのファンダも気持ち良く基準価額を上げることが出来ました。今後はアメリカの金融緩和もいよいよ終焉を迎えます。長い意味での金利の上昇には注意を払う必要がありますが、アメリカの長期金利は2%台中頃となっており、10月に入ってから調整局面では、仕込みをする良いチャンスともいえそうです。今後はドル高の中、新興国から先進国へお金の動きが強まり、株式の優劣もはっきりとあらわれてくると考えています。

セミナーのご案内



平山 賢一氏



量的緩和後の資産運用 2

2014年10月17日(金) 18:00~20:00(開場17:30)

ポーラ銀座ビル 4Fミキシムギンザ内
東京都中央区銀座1-7-7

無料(交流会参加の場合は1,000円)

33名

平山賢一氏 東京海上アセットマネジメント
多根 幹雄 弊社代表

日時

開場

費用

定員

講師



ぶらっとギンザ 第一回

2014年10月21日(火) 14:30~15:30

クローバー・アセットマネジメント 会議室
東京都中央区京橋3-3-4 京橋日英ビル3階

無料

5名

クローバー・アセットマネジメント
多根・磯野・田子



澤上 篤人氏

石津 史子氏



かっこいいお金の使い方

2014年10月24日(金) 18:30~20:00(開場18:00)

メガネの三城 心齋橋本店3Fサロン
大阪市中央区心齋橋筋1-4-26

無料(交流会は近くの居酒屋を予定しています。
参加費2,000円程度)

40名

澤上 篤人氏 さわかみ投信 会長/石津 史子氏 CFP
多根 幹雄 弊社代表

日時

開場

費用

定員

講師



澤上 篤人氏

石津 史子氏



澤上篤人氏に質問!!

2014年10月25日(土) 13:30~15:30(開場13:00)

パリミキ四条烏丸店内
京都市下京区四条通高倉西入立売西町74-1

無料(交流会参加の場合は500円)

25名

澤上 篤人氏 さわかみ投信 会長/石津 史子氏 CFP
多根 幹雄 弊社代表

お申込み

クローバー・アセットマネジメント
03-6262-3923 または gyoumu@clover-am.co.jp

■当セミナーでは、クローバー・アセットマネジメント株式会社が設定・運用・販売を行う投資信託の勧誘を行うことがあります。■投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。■当セミナーで示された数値、見通し等は、講演会開催時点のものであり、その正確性を保証するものではなく、将来予告なく変更されることがあります。将来の企業業績、市場環境の変化および運用成果等を保証するものではありません。

～家計に身近なファンドでありたい～

浪花おふくろファンド

追加型投信／内外／株式

月次レポート
2014年9月30日基準

ファンド概況

基準価額	14,395円	純資産総額	840百万円
設定日	2008年4月8日		
信託期間	無期限		
決算日	毎年3月3日		

期間別騰落率(%)

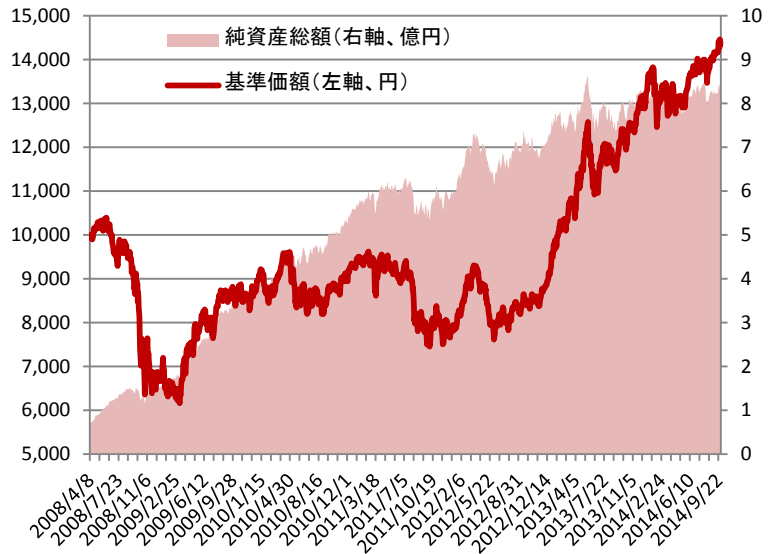
1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
2.65	5.38	9.87	15.99	85.36	43.95

分配金(円)

直近3期を表示

4期 ('12/3/3)	5期 ('13/3/4)	6期 ('14/3/3)	累計
0	0	0	0

基準価額と純資産総額の推移



運用コメント

9月の米国株式市場は、前月まで懸念されていた地政学的リスクは比較的安定した状況になりましたが、金融緩和の終了予定が10月下旬に迫る中、長期金利の上昇時期についての憶測によって高値と調整を繰り返す微妙な一ヶ月でした。ただ、月後半からの6円近くのドル高は、金融の状況が、いよいよ米金融緩和終了後のステージに入ってきた感があります。

一方、日本の株式市場は、特に、後半、一瞬110円台も見える予想以上に急速な円安により、大きく値を上げ、月末、調整はあったものの日経平均は、前月比4.86%となりました。

こうした中、おふくろファンドは、さわかみファンド、TMA長期投資ファンドが大きく貢献し、前月比2.65%となりました。

今後も調整局面があれば、積極的に追加投資してゆく予定です。

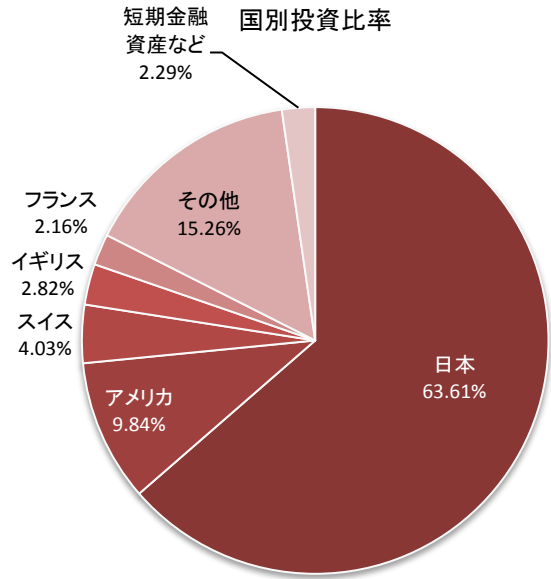
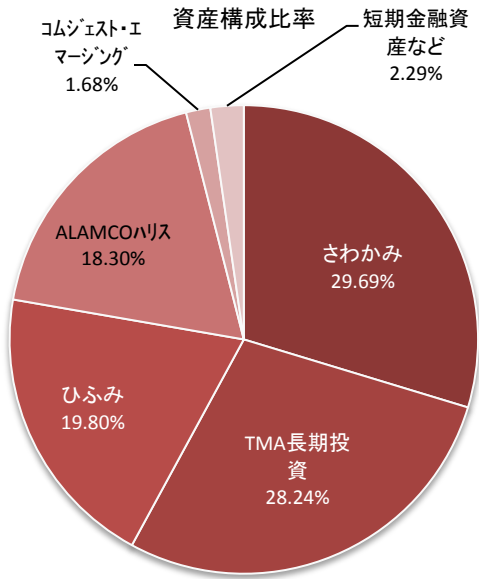
～家計に身近なファンドでありたい～

浪花おふくろファンド

追加型投信／内外／株式

月次レポート
2014年9月30日基準

ポートフォリオの状況



浪花おふくろファンド純資産総額に対する上位組入れ銘柄・比率

(組入れ銘柄数: 328銘柄)

順位	銘柄名	業種	組入れ比率	組入れファンド名
1	トヨタ自動車	世界最大級の自動車メーカー	1.62%	さわかみ
2	ブリヂストン	世界最大手のタイヤメーカー	1.27%	さわかみ
3	キーエンス	ファクトリーオートメーション用センサの製造	1.16%	TMA長期投資
4	シマノ	バイシクル、釣具、ボート等を製造	1.10%	TMA長期投資
5	ミスミグループ本社	機械加工製品の企画・販売	1.07%	TMA長期投資
6	エア・ウォーター	総合ガス企業	0.93%	TMA長期投資
7	国際石油開発帝石	石油や天然ガスの開発	0.92%	さわかみ
8	リンナイ	給湯、厨房、空調等の各機器を製造	0.90%	TMA長期投資
9	日本特殊陶業	プラグ、センサ等の自動車関連やセラミックを核とした医療、環境関連事業を展開	0.88%	さわかみ
10	三菱重工業	船舶、航空など総合機器メーカー	0.87%	さわかみ



ファンドの特色

①株式投資によって長期的に高い運用成果をめざします

株式は、数ある金融商品の中で最も高い投資成果を上げてきた金融商品の一つです。

株価が上昇してきたのは、主に企業の利益が時間をかけて拡大してきたからです。

つまり、株価が上がってきた企業とは、社会にとって必要な製品・サービスを提供し続けてきた企業である、とも言えます。

長期的には株価は上昇すると予想していますので、株式への投資比率は高めを維持するのが基本です。景気が過熱したり、投資家心理が強気に傾き過ぎたりと、株価の割高感が強まった場合は、その後の株価下落に備えて投資比率を低くし、現金の割合を増やす調整を行います。

②広く世界に投資します

長期的な株価上昇は、企業業績の拡大に沿って進むと考えています。業績が拡大を続ける企業は、もちろん日本にもありますが、世界に数多く存在しています。日本に限らず優れた企業を世界中に広く求めて投資することは、ファンドが成長するチャンスを増やしていくことにつながると考えています。

世界を視野に入れて投資すれば、ひとつの国や地域の株価変動に影響されすぎない、より安定した投資成果を期待することができると考えています。

③「ファンド・オブ・ファンズ」を採用

長期的な株価上昇には、企業利益に継続的な増加が必要だとの観点から、おふくろファンドでは、世界中に存在する優れた企業を選別して投資することを重視しています。

そのためには、世界の株式に単に分散投資するのではなく、優れた企業への選別投資を実行しているファンドに投資することが、最も効果的かつ効率的であると考え、ファンド・オブ・ファンズという仕組みを採用しました。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

<お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください>

ファンドにかかわる費用

購入・換金手数料	ありません
信託財産留保額	ありません
運用管理費用 (信託報酬)	年率0.972%(税抜き0.9%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.65±0.25%(概算)
その他費用・ 手数料	信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

業務管理部からのお知らせ

日暮れも早くなり、日毎に秋の深まりを感じるようになりました。皆様におかれましてはお変わりございませんか。

【取引残高報告書の発送について】

「取引残高報告書」はお預かり残高とお取引明細を四半期毎に作成・交付するものです。今回（2014年7月～9月期）は、期間中にお取引（売買等）があったお客様、および取引がなくても残高をお持ちで、最後の取引から1年が経過しているお客様に交付しています。

対象となるお客様のうち、残高がある方は、9月末時点の基準価額での時価評価が記載されておりますのでご確認ください。

【ご登録内容の変更はございませんか？】

投資信託説明書（交付目論見書）を皆さまのもとへ確実にお届けするために、ご住所・電話番号・Eメールアドレス等に変更がないか、いま一度ご確認ください。

投資信託説明書（交付目論見書）以外にも、お取引に関する重要な書類や大切なお知らせもございますので、ご登録内容に変更がございましたら、下記の手順にてお手続きをお願いします。

①「登録事項変更届」の用紙を弊社ホームページまたはお電話にてご請求ください。

②「登録事項変更届」にご記入のうえ、ご返送ください。

※弊社ご登録印であることをご確認ください。

※新住所が記載された「ご本人様確認書類」（運転免許証の写し・住民票等）をご同封ください。

③後日、弊社より「登録内容変更の控え」を発送いたしますので、内容をご確認ください。

なお、メールアドレスのご変更は、弊社ホームページまたはお電話でもお手続きを承ります。

<ホームページの場合>

「各種お手続き」→「メールアドレス・レポート受取方法変更」フォームよりご連絡ください。

<お電話の場合>

「メールアドレスが変更となった」旨をお申し出ください。

【毎月つみたてスケジュール】

引落開始月	新規申込・引落口座 変更締切日	引落金額変更・ 中止・再開締切日	引落日	約定日
平成26年11月	受付終了	10月22日（水）	11月5日（水）	11月17日（月）
平成26年12月	10月31日（金）	11月21日（金）	12月5日（金）	12月17日（水）

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話でも承っております。その際、ご本人様確認（氏名、住所、現在の契約内容等）をいたしますので、予めご準備をお願いいたします。

クローバー・アセットマネジメント株式会社 業務管理部（受付時間：平日9時～17時）

TEL: 03-6262-3923 / E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp

当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります）に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様は投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。